

目次

愚禿釋親鸞 ―その生涯と教え―

悲の器 ― 出家する魂

末法の世―宗祖の生きられた時代― 宿業の身を生きる―日野家の系譜―
出家 親鸞聖人の原体験

後世を祈る

比叡山延暦寺 鎌倉新仏教揺籃の地 磯長の夢告―聖徳太子からの宿題―
「親鸞夢記」―二つの夢告の意味するもの― 親鸞聖人と夢告

赤山禅院で出会った不思議な女性 百日参籠へ 後世を祈る

親鸞聖人と聖徳太子 六角堂の夢告

雑行を棄てて本願に帰す

雑行を棄てて本願に帰す―地獄におちても後悔せず― 恵信尼との結婚
如来よりたまわりたる信心 悲喜の涙―『選択集』の書写を許される―

専修念仏弾圧

弾圧の兆し―七ヶ条の制誡― 興福寺奏状―朝廷を動かす―
承元の法難 なぜ専修念仏は弾圧されたのか 弾圧者を悲しむ

「愚禿親鸞」の誕生

なぜ越後だったのか 家族を連れて流罪の地へ 流罪を内面化する
教信沙弥の定 「愚禿親鸞」の誕生

転法輪の旅

東国への旅立ち
なぜ東国を選ばれたのか
東国はフロンティアであった
恵信尼の覚悟

僧伽の誕生

東国での生活
僧伽の成立
いし・かわら・つぶてのごとくなるわれらなり
罪悪深重煩惱熾盛の衆生
御同朋・御同行

「浄土真宗」の開頭

再び京へ
『顕浄土真実教行証文類』の完成―仏との対話―
仮名聖教や御消息の執筆―自信教人信のまことを尽くす―

教団崩壊の危機

異義の広がり
難信
言葉で迷う
義なきを義とす
造悪無碍

悪人正機の教え
善鸞義絶
「善鸞」の正体

愚禿悲歎

かえすがえすあわれにかなしうおぼえそうろう
よきことにてそろう
弥陀の本願信ずべし 85
『正像末和讃』―機の深信の徹底― 90
悲泣と悲歎 91
恩徳讃 93
愚者になりて往生す 94

御入滅

聖人の御入滅 97
法然上人の御往生 98
臨終来迎 100
現生正定聚 101
自然法爾 104

参考文献